

コロナウイルス文献情報とコメント(拡散自由)

2023年12月2日

BMJ: 新型コロナワクチン接種でロングコロナリスクが減少：
スウェーデン589722名コホート調査

【松崎雑感】

このスウェーデンコホートでは、新型コロナ感染後のロングコロナ発症率は1%程度でした。追跡期間や定義などの違いにより、ロングコロナ率が大きく違うのでしよう。それはさておき、ワクチンを受けた方が、ロングコロナが半減していたという結果です。ワクチン免疫によって新型コロナウイルスの影響をしっかりと押さえた方が良いということを示しているのかもしれませんが。現在インフルエンザと新型コロナの混合mRNAワクチンの臨床トライアルが進んでおり、効果と副反応は、単独ワクチンと差がないとの初期報告があります。

新型コロナワクチン接種でロングコロナリスクが減少：スウェーデン589722名 コホート調査

Lundberg-Morris L, Leach S, Xu Y, Martikainen J, Santosa A, Gisslén M, Li H, Nyberg F, Bygdell M. Covid-19 vaccine effectiveness against post-covid-19 condition among 589 722 individuals in Sweden: population based cohort study. *BMJ*. 2023 Nov 22;383:e076990. doi: 10.1136/bmj-2023-076990. PMID: 37993131; PMCID: PMC10666099.

目的：新型コロナワクチンを最初の3回接種者（祖先株に対する2回ワクチン+追加ワクチン）がロングコロナリスクを減らした

方法：一般住民コホート調査。スウェーデンにおける前向き調査コホートFuture Insights-a Population Epidemiology Approach using Register Linkage (SCIFI-PEARL)プロジェクトに参加した人々の調査。2020年12月27日から2022年2月9日に新型コロナに感染した18歳以上のスウェーデン市民について、死亡、居住地、ワクチン接種、再感染、ロングコロナ発症状況を解析した。

結果：ワクチン接種済みの299692名中、1201名（0.4%）がロングコロナと診断された。一方、ワクチン未接種者290030名中4118名（1.4%）がロングコロナと診断された。ワクチン接種者は、未接種者よりもロングコロナリスクが有意に58%低下していた（ハザード比 0.42, 95%信頼区間 0.38 to 0.46）。ワクチン接種回数が増えるにつれてロングコロナリスクが優位に低下していた（1回21%減、2回59%減、3回73%減）。

結論：ワクチン接種回数が増えるにつれて、ロングコロナリスクが有意に低下していた。ワクチン接種がロングコロナ防止に大いに効果があることが明らかとなった。

ワクチン接種有無別ロングコロナ発症率

